

## 令和2年9月定例会会議録（第4号）

令和2年9月9日 水曜日 午前10時00分開議

平 進 介 議長 内 谷 邦 彦 副議長

### 出席議員（16名）

1番	鈴木	一則	議員	2番	勝見	英一朗	議員
3番	渡部	正之	議員	4番	鈴木	裕	議員
5番	竹田	陽一	議員	6番	金子	豊美	議員
7番	浅野	敏明	議員	8番	内谷	邦彦	議員
9番	渡部	秀樹	議員	10番	鈴木	富美子	議員
11番	赤間	恭広	議員	12番	梅津	善之	議員
13番	小関	秀一	議員	14番	今泉	春江	議員
15番	蒲生	光男	議員	16番	平	進介	議員

### 欠席議員（0名）

### 説明のため出席した者

内谷重治	市長	遠藤健司	副市長
齋藤環樹	統括監	竹田利弘	総務参事 兼地方創生参事兼総合政策課長
金子剛	厚生参事兼市民課長	鈴木嗣郎	会計管理者兼財政課長兼会計課長
安倍章浩	税務課長	新野弘明	地域づくり推進課長
土屋正人	教育長	青木邦博	技監兼建設参事兼公共施設整備課長
藁谷尊	産業戦略監兼産業参事	小関浩幸	教育参事
沼澤孝典	農林課長併農業委員会事務局長	赤間茂樹	商工観光課長
佐原勝博	建設課長	目黒孝博	学校教育課長
菅秀一	生涯スポーツ課長		

### 事務局職員出席者

中田浩之	議会事務局長	山口和則	議事主幹兼議会事務局補佐
長谷部貴子	庶務係長	飯澤光梨	議事調査係長
安達洋司	技士長		

## 議 事 日 程（第 4 号）

令和 2 年 9 月 9 日 水曜日 午前 1 0 時 0 0 分開議

### 日程第 1 市政一般に関する質問

1 5 番 蒲 生 光 男 議員

1 3 番 小 関 秀 一 議員

5 番 竹 田 陽 一 議員

9 番 渡 部 秀 樹 議員

### 本日の会議に付した事件

議事日程（第 4 号）に同じ

## 開 議

○平 進介議長 おはようございます。

これから本日の会議を開きます。

本日の会議に欠席の通告議員は、ございません。よって、ただいまの出席議員は定足数に達しております。

なお、蒲生光男議員から資料の配付について申出があり、会議規則第150条の規定により許可いたしましたので、ご報告いたします。

本日の会議は、配付しております議事日程第4号をもって進めます。

### 日程第1 市政一般に関する質問

○平 進介議長 日程第1、市政一般に関する質問を昨日に引き続き行います。

それでは順次、ご指名いたします。

#### 蒲生光男議員の質問

○平 進介議長 順位11番、議席番号15番、蒲生光男議員。

(15番蒲生光男議員登壇)

○15番 蒲生光男議員 おはようございます。

私の質問は大きく2点であります。

なお、2点目の質問に許可をいただきまして、資料の配付をさせていただいております。毎度あまり代わり映えのしない資料でありますけれども、参考になればと思っております。なお、カラー刷りの2枚目の一般市税の棒グラフの見

出しに誤字がありました。不納の「納」が間違っておりました。訂正をお願い申し上げます。

まず、新型コロナウイルスの収束が見えないばかりか、夏場は感染拡大にならないという従来の概念をほかに、夏場の猛暑の中で感染拡大をし続けているコロナの終わりの、終息が待たれる昨今であります。

コロナの蔓延により特に経済へのダメージは計り知れず、2020年4月から6月期のGDPは年率換算で27.8%減、本日の報道によりますと、これがさらに悪化し、28.1%減と報道がありました。リーマンショック後の17.8%減をはるかに超える戦後最大の落ち込みとなりました。新型コロナウイルスの感染拡大はいまだに衰えを見せず、世界中が翻弄され続けています。夏になれば収束するのではという淡い期待もむなしく、全世界的な広がり果てしないものになっております。

質問の第1点目ですが、置賜管内、特に長井市西置賜の管内の企業の業況はどうかについて、産業参事から答弁をお願いいたします。具体的な質問項目は次のとおりであります。

企業の稼働状況はどうか、週休3日、4日というのものもあるようだが。②雇い止めはないか、雇用調整助成金は活用されているのか。③新卒者は予定どおり就業しているのか。④企業の収益状況はどうか。

日本のGDPの落ち込みはさきに触れたとおり、27.8%、今日の報道で28.1%ですが、アメリカがスマートフォン利用者の位置情報を基に移動先を分析したデータで見ると、感染抑制のために厳しい行動制限を導入して人手が少なかった国、地域ほどGDPの落ち込みが大きい。4月から6月期の人手(中央値)が52%減と主要国で最も減ったスペイン王国と英国は、GDP減少率も上位2位を占めました。

世界旅行ツーリズム協議会によりますと、主要経済国でGDPに占める観光の割合が最も高